

## 平成 18 年度第 1 回尼崎市保健所運営協議会報告書

- 1 と き 平成 18 年 7 月 28 日（金） 午後 1 時 30 分から 3 時まで
- 2 ところ 尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホール
- 3 出席者 尾崎会長、重岡副会長、池上委員、佐藤委員、上甲委員、田尻委員、田丸委員、寺田委員、萩原委員、藤原委員、右下委員、湯里委員、吉田委員（委員 13 人）  
高岡医務監兼保健所長、浅野部長、新家課長、船越課長、生見課長、鈴木課長、浮田参事、鈴木参事、畠山課長補佐、後藤課長補佐、高橋昌幸係長、來住係長、高橋鈴代係長、高井係長、松川係長、宮永係長、堀係長、中尾係長、吉田係長、高橋昌男係長、山本主任、横溝主事、栗村主事、堀池課長補佐（事務局 24 人）

### 4 議事録

- (1) 開 会
- (2) 辞令交付
- (3) 尼崎市保健所長あいさつ
- (4) 会長あいさつ
- (5) 協議事項
- (6) 質疑応答

#### 【議題 1】 平成 18 年度尼崎市保健所事業について

発言者	内容
事務局	(資料に基づいて説明)
委 員	ありがとうございました。以上で事務局の説明は終わりました。これまでの説明でご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。
委 員	最近疑問を抱いていることで、是非聞いておきたいのですが、県立尼崎病院の産婦人科病棟が閉鎖されるということがありまして、そういう医療のことについてちょっと興味を抱いております。産婦人科病棟がかなり全国的に少なくなってきているのではないかといわれておるんですけど、尼崎の中での産婦人科医療施設に関して、それは保健所が関るべきことなのかどうか、私もそこまでは知らないのですけれども、展望といいますか市民にとっては産婦人科病棟がなくなっていく、子供を産むのに病院がないという状況が、どうもあるのではないかとこの心配をしております。やはり子供が次々と生まれてきて安心して生活ができなければ尼崎市としても、やはり弱体化していくのではないかと考えておまして、できれば産婦人科病棟にかかわらず、その病院でなかなか思うように活動できなくなっているようなところがあれば何らかの形でサポートしていくことができないうかと考えています。保健所の方々に何か知恵をしばっていただけないかよければお答え願えないでしょうか。
委 員	これは保健所として答えるのは難しいと思いますが、事務局お願いいたします。

事務局	<p>医療機関に対する直接的な支援ではなく、市民の方が安心してお産ができるような体制をつくるのかは保健所、行政の役割だと思います。ですから、例えば平日の夜間で急に産気づいたけれどもそのお産ができるようになってきているのかどうか、例えば産婦人科の在宅当番医制度の中でそういうことができるようにしていく、もしくは今産科がある関西労災病院とか、医療生協病院とか、塚口病院もございますけれども、そういうところできちっとお産ができるようにするというのは、行政の役割だろうと思っております。それと、ご指摘のありました県立尼崎病院産婦人科が、先生方が開業されるという中で休止状態に陥ったことについても、そこにかかっておられる患者さんが、きちっと引き続いて治療できるようにすることを考えるというの、必要なことだと思います。尼崎市では幸いにも、産婦人科にしましても小児科にしましても、十分安心してかかれる医療機関が整っている状況でございますけれども、基本的には市民が安心するという意味では行政としての役割であると理解しております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。よく説明をして頂いてわかりました。ただですね、実質感じたことというのはですね、健康な方が出産される内容ではなくてですね、ピンチに陥った時に、要するに切迫早産あるいは帝王切開であるとか、過去に帝王切開がありながら自然分娩したりですとか、そういうことに関して不都合というのを目の当たりにして、健康な方が出産される内容だけではなく、できればピンチに陥った時に入院できる施設、あるいは、NICUそういうものを、できればサポートしていただければ安心できるのかなと思っております。</p>
委員	<p>これは全国的な状況でございます、やはり少子社会を防ぐためにはそういうきめの細かい、母性を含めて支援すべきであると思っておりますが、これは尼崎市としてはなかなか難しいことだと思いますが。ありがとうございます。</p> <p>ただいまのこの件に関して、ご発言ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>たまたま4月から尼崎病院に参りました。その前は県立塚口病院に参りました。尼崎病院は今産科がなくなったのですが、県の方針がでまして、塚口病院の方は生育医療というかたちでありまして、いずれは尼崎病院から塚口病院へ移行するという計画ではあったのですが、これが少し早くなったということで、塚口病院で生育を10月位から実施する予定となっております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。ご説明でもわかりましたが、県立病院が二つございますが、それを一つの病院と考えようとして、ちょっと分化させるような方向に行っているようでございます。また、そのうち答えがでるだろうと思っております。ありがとうございます。他にございませんか。</p>
委員	<p>先ほどの会長のご挨拶の中でもあった結核ということで、1ヶ月も経ちませんけれども、新聞紙上で徳島の方で理容師が5人ほど集団結核になり</p>

	ました。尼崎市も兵庫県下で相当悪うございます。尼崎市の中で結核患者がどの位おるんでしょうか。おわかりでしょうか。
委員	担当の方をお願いします。
事務局	結核登録患者数といたしまして、平成 17 年 12 月現在 367 名おります。以上でございます。
委員	これは全国的にみてどうなんでしょうか。
事務局	結核登録患者数でございますけれど、平成 17 年 12 月末現在 367 名と先ほどご報告いたしましたが、年々減少傾向にございます。平成 15 年は 12 月末現在 506 名、平成 16 年は 473 名、平成 17 年 367 名ということで年々減少傾向にございます。あと、結核の蔓延状況を示す指標としまして、10 万人あたりの患者数が何人かということで、罹患率ということで数字をだしておりますが、本市につきましては平成 16 年度 10 万人あたり 43.3 人、これに対しまして全国平均は 23.3 ということで、全国平均以上です。兵庫県の 29.0 に比べましてかなり高い数値になっておりまして、予防対策を推進しておることもありまして、年々減少傾向にあることは間違いないということでございます。
委員	よろしゅうございませうか。他にございませんでしょうか。ないようでございますたら、ただいまのご報告を一応了承させていただくとしまして、また、思いつかれましたら、ご質問とご意見をお願いいたします。

【議題 2】 妊婦後期健診について

発言者	内容
委員	続きまして、妊婦後期健診につきまして、事務局からよろしくお願いたします。
事務局	(資料に基づいて説明)
委員	ありがとうございました。ただいまのご報告でご意見、ご質問はございませんでしょうか。少子化を防ぐためにも大事な事業の一つだと思っておりますがございませんか。ありがとうございます。 それでは次に参ります。尼崎市保健所におけるアスベスト対策事業について、事務局からです。

【議題 3】 尼崎市保健所におけるアスベスト対策事業について

発言者	内容
事務局	(資料に基づいて説明)
委員	ありがとうございました。 アスベストによる被害は毎日のようにテレビで報道されておりますが、ただいまの報告に対してどなたかご質問はございませんでしょうか。ないようでございます。ありがとうございました。

	次に、一般環境経由による石綿ばく露健康リスク調査についてお願いいたします。
事務局	(資料に基づいて説明)
委員	ありがとうございました。ただいまのご報告ご説明何かご質問ございませんでしょうか。これだけしっかりしておられれば、まず患者さんの方も安心して受けられると思いますが。はい、ないようでございますので、いままでご報告なされましたものについて質問、ご意見ございましたらどうぞ。
委員	先ほどの 3-1 のところで言葉足らずで誤解を招くと思いますので、付け加えさせていただきます。生育医療は、県立塚口病院で平成 18 年 10 月からと述べましたが、県の方針は 19 年 4 月に向けてという方針がでております。ただ、尼崎病院の産科がなくなったということもありまして、少しでも早く 18 年度にしなくてはということで努力しているというものでありまして、10 月からと決まっているというわけではございませんので付け加えさせていただきます。
委員	ありがとうございます。妊婦後期健診の一部助成のクリーム色のパンフレットの裏側にも、各産婦人科病院が書いてございますので、尼崎市としては体制としてできていると考えております。もし、各委員方へ問い合わせがございましたら、ご回答頂きたいと思います。他にございませんでしょうか。どうぞ。
委員	先ほど聞き逃したかもしれませんが、AEDの配置についてですが、保健センターと支所に配置するということですが、例えばリスクの高い方の利用されるスポーツ施設、公的なプールであるとか、学校とかはどのようにしているのか教えていただけますでしょうか。
事務局	先程申しあげました 8 台というのは、市役所が購入するということです。スポーツ施設などでは、すでに購入して配置していると聞いております。ただ公共交通機関、電鉄関係につきましては阪急電車のみでありまして、JR、阪神というのは、昨年度のヒアリング、聞き取り調査では設置していないという状況であります。学校は昨年度市立高校に 1 台もしくは 2 台の配置が進んでおります。
委員	学童の突然死、冬の耐寒マラソン、パタッと倒れるなど時々報道がされますが、こういうものは早く普及をした方がいいかと思います。ご意見ございませんでしょうか。
委員	いままでとちがうのですが、母子保健のところで、虐待防止推進事業とありますが、いろいろと予防的に事業をしておられるようですが、予防でございますから、なかなか見つからないところもあると思うんですけれども、この事業をなさっておられて、実際子どもセンターと連絡をとって、虐待と認められたような事例はあるんでしょうか。どうでしょうか。ちょっと教えていただければと思いますが。

委員	これはどなたになるのでしょうか。担当の方。
事務局	虐待防止推進事業の中には、いろいろな取り組みをしております、その中でも地域毎に連絡会議をやっておりまして、その中でいろいろなネットワークができております。各担当のところで虐待が見受けられた場合には、各関連のところと連絡をしたり、通告をしたりということで、連携をとりながら対応をしております。防止ということだけではなく、実際に虐待が起こっている人たちのケースカンファレンス、こどもセンターも含めて一緒に連絡会議、対応をしておりますので、実務としては具体的な虐待にも対応しております。
委員	よろしゅうございますか。このことに関しては医師会も会員に徹底通達いたしておりますので、何かありましたら医師会事務局まで報告が参るようになっております。他にございませんでしょうか。ないようでございますので、これで本日の協議を終了したいと思います。皆様方のご協力ありがとうございました。
事務局	それでは、閉会にあたりまして、副会長よりごあいさつをお願いいたします。

(6) 副会長あいさつ

(7) 閉会